

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------|--|---|--------------|---------------|-----------------|------|----------|----------|----------|------|-------|------|
| 科目ナンバリング | | U-ENG20 22503 SJ77 | | | | | | | | | | | |
| 授業科目名 <英訳> | | グローバル・リーダーシップセミナーⅡ(イノベーションとその事業化) Global Leadership Seminar II (Innovation and its commercialization) | | | | 担当者所属・ 職名・氏名 | | 工学研究科 教授 | 工学研究科 講師 | 工学研究科 講師 | 本多 充 | 平井 義和 | 高津 浩 |
| 配当 学年 | 2回生以上 | 単位数 | 1 | 開講年度・ 開講期 | 2022・ 後期集中 | 曜時限 | 集中講義 | 授業 形態 | 演習 | 使用 言語 | 日本語 | | |
| 【授業の概要・目的】 | | | | | | | | | | | | | |
| <p>社会が京大生に求める能力は、主に「各専門分野に関する深い知識」と「自ら課題を見いだし解決への道筋を提示する能力」です。本授業では、通常の講義や大学生活の中で身につける事が難しい後者の能力を、新規事業立案を通じて育成します。</p> <p>【本授業の特徴】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 充実した講師陣：企業で活躍中の著名なイノベーターによるメンタリングの下、課題設定、解決のための企画立案を実施 2. 活動予算の付与：企画案の検証のための市場調査、試作品製作、ソフト開発に必要な予算を付与 3. 発表の機会：優秀提案は、桂図書館に展示される等、事業化の機会が与えられる <p>【メンター】</p> <p>大嶋光昭 特命教授（パナソニック（株）名誉技監、ESL研究所所長） 手振れ補正、5G通信等を発明した日本を代表するイノベーター（紫綬褒章、旭日小綬章受章） https://hillslife.jp/learning/2018/05/06/new-perspective6/</p> <p>西本清一 名誉教授（京都高度技術研究所 理事長） https://www.astem.or.jp/about/researcher/nishimoto</p> <p>金子健太郎教授（立命館大学 総合科学技術研究機構 教授） FLOSFIA共同創業者であり、新しい半導体材料を次々創出</p> <p>對馬哲平氏（ソニー(株) モバイルコミュニケーションズ事業本部 wena事業室 統括課長） Sonyのスマートウォッチwena事業の創業者 https://www.sony.com/ja/SonyInfo/Jobs/recruit/business/sap/tsushima.html</p> <p>向井 務氏（パナソニック(株) 主幹） イスラエルにて、ベンチャー企業とのオープンイノベーションを推進</p> <p>青山秀紀氏（パナソニック(株)） 可視光通信技術LinkRayTMを開発、IEEE802.15.7通信規格を副議長として国際規格化 https://hidekia.github.io/</p> <p>大嶋特命教授は、iPhoneにも搭載されているカメラの手振れ補正や5G携帯の高速データ通信や超低遅延通信などの基本特許を発明し開発した「日本の代表的発明家10名」に選ばれている研究者です。さらに任天堂Wiiソフトの海賊版防止や日米欧のデジタルTV放送規格、IoT家電などを発明された多分野型発明家で、シリアル・イノベーターとしても有名です。大嶋特命教授には、社会を変えるような大きな発明がどのような発想から生まれるか紹介してもらいます。</p> | | | | | | | | | | | | | |
| 【諸注意】 | | | | | | | | | | | | | |
| <p>工学部2回生以上を対象とします。本セミナーの単位数は1ですが、卒業に必要な単位として認定されるか否かは、所属学科によって異なります。必ず所属学科事務室で確認して下さい。また、11月26, 27日に合宿を行いますので、学生教育研究災害傷害保険に加入している必要があります。合宿は、参加を推奨します。</p> | | | | | | | | | | | | | |
| グローバル・リーダーシップセミナーⅡ(イノベーションとその事業化) (2)へ続く | | | | | | | | | | | | | |

[到達目標]

課題の抽出・設定から社会的価値の創出を視野に入れた課題解決の提案まで、グループワークを通じて企画立案能力を養う事を目標とします。

[授業計画と内容]

対面方式で実施します。

コロナ禍の状況により、変更する場合がありますが、その際はメールにて連絡します。

オリエンテーション...1回,授業の概要とスケジュールを説明し、グループを編成します。

レクチャー...3回,有識者による特別講演を実施します。

グループワーク...7回,課題設定と問題抽出、ならびに資料収集とグループワークを行います。

討議形式による集中的なグループワークを通じて、課題解決に向けた提案を企画立案し、報告書原案を作成するとともに、2～3回のプレゼンテーションを実施します。

予備検討会...1回,予備検討会を実施し、ディスカッションを行います。

成果発表会...1回,最終プレゼンテーションおよびレポート提出を行います。

[履修要件]

特にありません。

本科目は令和3年度より科目名を変更しています。

旧科目の「GLセミナーⅡ(課題解決演習)」を既に履修済みの場合、仮に新科目を履修しても増加単位となるだけですので、注意が必要です。

[成績評価の方法・観点]

課題やグループワークを通じて、各グループでのビジネスプランを立案する事を必須とします。

報告会を開催し、グループ討議形式による課題の抽出と設定能力、目標達成に向けた解決策の提案能力を、提案内容のプレゼンテーションおよび提出されたレポートにより総合的に評価します。

[教科書]

必要に応じて指定します。

[参考書等]

(参考書)

必要に応じて指定します。

[授業外学修(予習・復習)等]

必要に応じて指定します。

(その他(オフィスアワー等))

実施時期：10月～1月

取得した単位が卒業に必要な単位として認定されるか否かは、所属学科によって異なります。所

属学科の履修要覧を参照して下さい。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

[実務経験のある教員による授業]

分類

合宿研修によってグループワークを実施し、企画立案力・課題解決力を育成すると共に提案書の内容について素案から完成版に至る各段階での口頭発表を通してプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を強化する

当該授業科目に関連した実務経験の内容

実務経験を活かした実践的な授業の内容